



インスピレーションになろう

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2018年9月号



『基本的教育と識字率の向上・ロータリーの友月間によせて』

国際ロータリー第2710地区
2018-19年度 ガバナー

吉原 久司

GOVERNOR:
Hisashi Yoshihara

世界では、約5,900万人の子供たちが学校に通えず、7億8,100万人の成人が読み書きができないと言われています。もし文字を知らなかったら、もし計算の仕方が分からなかったら。想像してみてください。文字が分からず、計算ができない自分を。私たちにとっては、ごく当たり前のことのように思うかもしれませんが…。そんな非識字者（読み書きができない人）が7億8,100万人にもいるのはなぜでしょうか？ その原因と問題点について考えてみましょう。非識字者の3分の2は女性です。アフリカの識字率が低く、アジア（アフガニスタンは除く）は比較的識字率が高いようです。

ではなぜ読み書きができない人が多いのでしょうか？ 識字率が低い代表的な要因を挙げてみましょう。

- 1) 学齢期に教育を受けることができないから
- 2) 近くに学校がないから
- 3) 女の子は学校に通う必要がないと考えられているから
- 4) 先生の数が足りないから
- 5) 家で話す言葉と学校で教わる言葉が違うから

主だった5つの原因だそうです。日本でも幕末の識字率は世界的にも高い水準にあったそうですが、それでも女子の識字率は21%でした。また識字率の向上が、貧困解決に効果があることが統計的に証明されています。

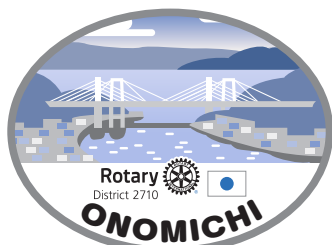
まず成人の識字率教育の注意点は、文字を学んで家族の生活

の質を向上させることができ、子供の教育にも熱心になり、更に勉強のモチベーションも高まることです。

学校教育では教育費を払えない時には所得を増やすために親や保護者への職業訓練を実施する。子供が労働力となっている時には幼い子を預ける保育園の開設、授業時間を柔軟に設定する。文化的に教育が重視されていない・教育に対して親の理解が足りない時は、学校教育のメリットを説明する、学校説明会を開く、宗教リーダー・地域リーダーに教育の重要性を強調してもらう（特に女子教育）、PTA組織を作る。健康問題により通学ができない・病気の家族の世話をするため通学できない時は、学校での水・衛生プロジェクトと併せて実施する、HIV・エイズやその他の予防可能な疾病についての認識向上を図る。

国際ロータリーは大きなプロジェクトを作りユネスコなどの他団体と協調し行動しています。私たちの地区ではまず相手国のニーズに応じられるよう地区補助金を使った地域ニーズ調査から入りましょう。たとえ本プロジェクトがうまくいかなかった時でも、一定のルールに基づいた調査費用は出ますので安心してください。それと並行して信頼のおける現地クラブとの提携もとても重要です。私たちの地区のロータリー財団委員は特に優秀で色々な確かなアドバイスを受けられると思いますので積極的にご相談いただきたいと思います。DDFを使ったグローバル補助金プロジェクトは最低でも2～3年かかるものが多く早速ニーズ調査に取り掛かって下さい。

最後に「ロータリーの友」には日本の他地区をはじめ世界のロータリーの活動が多数掲載されておりますので、ぜひ読んでもらいたいと思います。例会卓話の時間やクラブ・インフォーマルミーティングの時などを利用してもらえればと思います。



～輝こう ロータリーふたたび～

【目次】

- ガバナーメッセージ……………P1
- ガバナー補佐就任のご挨拶……………P4～6
- 基本的教育と識字率向上月間によせて……………P2
- 会員増減・出席率(7月度) 特別コラム……………P7
- 第10期RLI-2710 分科会研修パート3を終えて…P3
- 新会員・物故会員紹介 文庫通信 (奥付)……………P8
- 第1回諮問委員会報告……………P3



基本的教育と 識字率向上月間によせて

国際ロータリー第2710地区 パストガバナー 前田 茂

ポールハリスの語録の中に「個人と国家の公正に害をなすものと闘うために神から人類の手に置かれた最も強力な武器が、教育である」と言っている。(ミズリー州カンザスシティー 1918年 RI国際大会でのメッセージ)

日本の教育基本法においても教育は人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として真理と正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない(1947年3月公布)とあります。

現在、世界の非識字人口は9～10億人、99%が発展途上国に住み、その4分の3がアジア人、その3分の2が女性と言われています。非識字は三つの点で人類の前途を暗くしています。一つは、非識字率が貧困の根源であり、また世界的社会不安の原因となっており、読み、書き、計算の能力を身に付けることが貧困から脱却するのに最も有効な手段といわれています。二つめは、非識字から生じる人口問題です。特に女性の教育が重要とされています。三つめは、非識字が地球のエネルギーや環境の問題に繋がっています。

日本においても日本語教育を必要とする在日外国人が急増しており、相互理解は無論日本の文化の理解にも日本語教育の需要は増大しています。

国際ロータリーは非識字をロータリーの最重要課題として、1997-98年度のRI理事会(Glen W. Kinross 会長)で識字率向上月間と指定して年度のテーマ「“ロータリーの心を・あなたの住むところ、私達の世界、そこに住むすべての人々に”」の発表に際し、世界平和の最大の障害になっている飢餓と貧困に対して闘いを開始しましょう! そのためには識字率の向上を図ることです。ロータリアンの

皆様、力をお貸しください!」と呼びかけました。これに応じて国際ロータリー理事会は、発展途上国の人々への識字率向上キャンペーンが具体化したわけであります。

地域の識字水準がその地域の生活水準に直結するという観念からこの月間中に、読み、書き、計算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同隊、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、世界社会奉仕、ロータリーボランティア、その他、現存プログラムを通して識字率向上に取り組んでいます。我が地区において現在までアジアの国々に対し、学校建設や教科書・教材用具の贈呈等の支援を行ってきています。

今回、2017-18年度においてロータリー財団のグローバル補助金奨学生 河崎 涼花さん(三原ロータリークラブのホストのもと、テーマが「基礎的教育と識字率向上」で、RI第1080地区 イギリス・イーストアングリア大学の国際開発学部教育開発修士課程に進学されました)を送り出しています。

国際ロータリーは世界的な識字推進団体、そして国際読書協会と協力し合い世界的な識字推進を目指す社会奉仕プロジェクトを開発中です。2006-07年度から識字率向上月間は3月に変更されました。

こうした絶え間ない多面的視野のもと支援活動が展開されています。ロータリーの真価と将来を見据えた社会的貢献を再認識するものであります。

少子化高齢化の現在、若い人たちが世界的視野において、人工知能(AI)・デジタル化社会の進行する中「基本的教育と識字」がいかに重要であるか認識していただき、そのための行動の必要性を強く感じるところであります。



第10期RLI-2710 分科会研修パート3を終えて

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 研修リーダー 金子 克也

第10期RLI分科会研修パート3は、2018年6月10日、ホテルグランヴィア広島で開催された。

ロータリーを客観的に高い見地から眺める目的で、パート3“ロータリーの旅”のランドマークとして、以下の6つを掲げ、分科会とした。

1. 効果的なリーダーシップ戦略
2. ロータリーの機会
3. 公共イメージと広報
4. ロータリー財団Ⅲ 国際奉仕
5. 変化をもたらす
6. 規定審議会

2017年10月タスクフォース会議、11月 ディスカッションリーダー（以下DLと略）研修、2018年1月第10期分科会研修パート1、4月パート2開催。最後に6月10日第10期研修パート3終了。68名もの研修終了者（内他地区3名）が誕生した。

研修後のアンケート調査結果では、

1. RLIでは、自己啓発が可能、他クラブの実情を知ることにも出来るし、知人もふえたので、クラブ員を参加させたいと殆ど全員がRLIに関心を高めていた。

2. ディスカッション・リーダー（DL）に関しては、パート1に比してさらに一段と評価が高まった。DLへ感謝する受講者の声が多かった。DLの皆さんの頑張りの成果と感謝している。が、さらに質の高いディスカッションを求める声もあり。これを暖かい励ましの意見と聴きとり、受講者の周到な準備とDLのさらなる習熟により好結果をもたらしたい。

今後、会員の潜在能力を高めるためにもRLIへの期待は益々高まるものと思われる。会員の皆さんの積極的なRLIへの参加とクラブでのRLI式の研修開催を切に願っています。



第1回諮問委員会報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 代表幹事 安保 雅文

本年度第1回諮問委員会が7月8日（日）ホテルグランヴィア広島で開催されました。

出席者は、総勢23名でした。なお田村パストガバナー、大之木パストガバナー、晝田ガバナーエレクトは豪雨による影響により急遽ご欠席されました。

最初に藤中秀幸直前ガバナーより以下の報告がありました。

1. 会員の動向について

○ 2018年5月末現在 3,321名（内女性会員172名）

期首より70名増（女性会員26名増）

○ 2018年5月末現在の当地区の平均出席率 90.42%

2. ロータリー財団について

（ロータリー財団寄付状況合計647,294.34ドル）

○ 地区別寄付報告 ○ クラブ別寄付報告 ○ ポリオ寄付報告

○ 2017-18年度DDF配分 ○ グローバル補助金 ○ 米山記念奨学会について

地区別順位 当地区今期合計額は42,014,385円で地区順位12位

3. 各種表彰について

4. 第109回国際ロータリー年次大会（トロント）の報告

地区内より54名参加

5. 決算見込概要

続いて吉原ガバナーより2018-19年度地区運営に対する抱負の説明があり、地区及び各クラブにおいて達成すべき目標、地区内主要行事、海外関連事項、公式訪問予定一覧、地区指導者育成セミナー（8月26日（日）ホテルグランヴィア広島）、地区大会（10月19日（金）尾道うずしおカントリー倶楽部、20日（土）尾道国際ホテル、21日（日）びんご運動公園）の報告がありました。

地区内情報についてローターアクト、インターアクト、青少年交換派遣学生、RCC、プロバス、ロータリー財団奨学生、米山記念奨学生（新規18名、継続7名）、地区補助金プロジェクト、東京RC創立&日本のロータリー100周年を祝う鐘、米山梅吉記念館創立50周年記念事業への寄付依頼等の説明がありました。

また、今回の豪雨による被災に対しての義捐金の扱い等についての意見交換もされました。

最後に、平地茂雄2019-20年度地区代表幹事より当該年度の地区担当者名簿（案）、地区主要日程（案）について説明がありました。

ガバナー補佐就任のご挨拶



グループ1 ガバナー補佐

長門RC 吉村 彦士

2018-19年度グループ1のガバナー補佐を務めさせていただきます、長門ロータリークラブの吉村です。

当グループでは、6RCが順番で補佐を選出する慣例になっており、本年度は長門ロータリークラブが当たり私に白羽の矢が立てられました。

昨年10月1日の第1回ガバナー補佐会議に始まりディスカッションリーダー、3回にわたるRLI分科会研修、地区研修・協議会等々に参加しながらほぼ半年間、ガバナー補佐と

しての研修を経て、遂に新ロータリー年度が始まりました。

吉原ガバナーの基本目的は「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」です。

RI会長の目標それを具体化したガバナーの目標をグループ内の各クラブに伝える一方、各クラブの活動と課題をガバナーや地区に伝えるなど、ガバナーと各クラブの架け橋となるよう努めてまいります。

どうぞこの1年間、ご支援ご指導宜しくお願いします。

また、2019年3月17日(日)は、グループ1のIMを開催致します。

皆様のご参加をお待ちしております。



グループ2 ガバナー補佐

小野田RC 田中 剛男

2018-19年度グループ2のガバナー補佐(AG)を担当させて頂くことになりました。2002-03年度が私の会長年度、それから16年の年月が過ぎ、半ばうたた

寝をしていたところを叩き起こされた様な感じです。AGはもとよりガバナー(G)を陰になり、又、陰になりお支えする立場にあります。Gとグループ内、各クラブの一体感が醸成される様努めて参ります。ロータリーは今大変な「変革期」又は「変動期」にあります。「ロータリーの友」7月号でRI理事のお二人が、言っておられることは、奇しくも同じ内容・

「変えてはならないこと、変えなければならないことの見極めが求められる」「変えるべきこと、変えざるべきことをいま一度考える良いチャンス」と、但しそれが、具体的に何を指すのかについては触れられていません。「職業奉仕」とか「職業倫理」とかはどこに行ってしまうのだろうか。只、ひたすらRIの言うことに追随しなければならないのだろうか。少子高齢化と人口減少、小規模事業者の減少、若年層の低収入化等々の逆風の中での「会員増強」ですが、頑張りたいが、頑張れるのか、最近のロータリーに少し懐疑的で、又少し弱気なわたし。AGがチャント務まるのだろうか、皆様方のご指導を心よりお願い申し上げます。よい年度となります様に祈念致します。



グループ3 ガバナー補佐

防府北RC 山野 貴教

ロータリー歴38年、在籍中に会長も3回経験しております。今年度ガバナー補佐を引き受けることとなりました。補佐はガバナーの方針を伝え、クラブの方針をガバナーに伝え、指導していただくことが役目だと思います。ガバナーの基本目的は「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」とされました。グループ3のクラブの皆様は会員増強をクラブ活動のテーマとしてください。IMのテーマも増強をメインとして行いたいと思います。第1ゾー

ンの東北地区は東日本大震災を受け、会員の減少が著しいと聞いています。しかし防府北RCと交流のある福島県南相馬市の原町中央RCは増強に成功し、すばらしい活動をしていますので、IMにて発表していただきます。福島県は小中学生や若者がいなくなり、将来は活気のない町となることを心配して青少年の教育に取り組んでいらっしゃる方の講演を予定しています。我々ロータリアンも奉仕プロジェクトとして青少年の育成に取り組んでいます。強いクラブを作るための重要なターゲット層になると思います。各クラブのご協力をよろしくお願いします。



グループ4 ガバナー補佐

周南西RC 蔵清 正一

本年度国際ロータリー第2710地区グループ4(徳山、徳山東、周南西、光、徳山セントラル)のガバナー補佐の大役を仰せつかりました周南西ロータリークラブの蔵清正一でございます。

昨年10月に開催された第1回ガバナー補佐会議に始まり、第10期ディスカッションリーダー研修、3回のRLI、PETS、地区研修協議会、クラブ戦略フォーラム、ガバナーエレクトを囲む会・会長幹事会議等充実した研修プログラムを受講

し、いよいよ、クラブ訪問、ガバナー補佐訪問(4クラブ終了)、ガバナー公式訪問(3クラブ終了)、指導者育成セミナーが終了している所です。

吉原久司ガバナーは、信条を「輝こうロータリー ふたたび!」とされ、基本目的を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」と言われておられます。微力ながら、各クラブのロータリー活動がより充実したものになるようにお手伝いができればと考えております。

最後に、来年2月16日(土)IMを開催させていただきます。会長幹事をはじめ会員皆様の御指導御協力を宜しく御願い致します。



グループ5 ガバナー補佐
柳井RC 福田 敏勝

今年度グループ5(岩国3、柳井2)のガバナー補佐を務めさせていただきます柳井ロータリークラブの福田敏勝でございます。私は1995年にご縁があり柳井RCへ入会させていただき、23年を迎えようとしています。以来、クラブ内において数々の役職を経験させていただきました。中でも2011-12年度は当クラブより田村ガバナーを輩出した折に、地区副代表幹事をはじめ、ロータリー財団委員長、東日本災害復興支援担当を務めさせていただきました。地区運営に係わることは初めての経験で、私にとりまして非常に良い経験をさせていただきました。昨年からガバナー補佐会議、RLI、PETS、地区研修・協議会など新年度の準備をしてきましたが、まだまだ

自身のロータリーに対する知識などが不足しており、あらためて勉強不足であったと認識を致しました。

今年度のガバナー信条は「輝こうロータリー ふたたび!」そして基本的目的として「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」です。近年会員の減少傾向が続いており、会員維持・増強は近々の課題となっております。その中で、ガバナーは地区内すべてのクラブを一層効果的なクラブに導くべく尽力されます。会員の維持・増強、成果のある奉仕プロジェクトの実施、R財団の支援と積極的な活用、インターアクト・ローターアクトの支援と増強を骨子としています。これらを踏まえ、ガバナー補佐の役割である各クラブと地区とのパイプ役、調整役ならびにガバナー業務を支援するための適切な情報提供と伝達をしっかりと実施して参りたいと思いますので、グループ5の各クラブの皆様のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



グループ6 ガバナー補佐
広島RC 松井 敏

本年度グループ6のガバナー補佐を務めさせていただきます、広島RCの松井敏です。昨年10月1日の第一回ガバナー補佐会議に始まり、三回に亘るRLIのディスカッション・リーダー、その他の研修会などを経て、徐々にガバナー補佐を務めさせていただく実感が湧いてきております。また、今年度はIM開催を担当する年度となっております。

り、2019年2月2日(土)に開催いたします。クラブの皆様にもご協力をお願いすることになります。何卒宜しくお願い致します。

さて、今年度の吉原久司ガバナーは、「輝こうロータリー ふたたび!」の信条のもと基本目的を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」とされています。6グループの7クラブが仲間を増やしなが、各クラブそれぞれの魅力を再認識し、明るく楽しいロータリー活動が出来ますように、各クラブの会長・幹事様と共に協力し努力致しますので、年間宜しくお願い致します。



グループ7 ガバナー補佐
広島城南RC 松田 文雄

本年度グループ7のガバナー補佐を務めさせていただきます。昨年10月に第1回ガバナー補佐会議があり、12名の各グループガバナー補佐と出会いました。それから研修会等のハードスケジュールを夢中で駆け抜けてきました。吉原久司ガバナーの信条である「輝こうロータリー ふたたび!」そして基本目的である「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」の意味するところが、次第に

私なりに腑におちました。グループ7の各クラブ訪問はとても刺激的です。それぞれの“クラブらしさ”は個性的であり歴史の上に積み重ねられた唯一無二のものであることを改めて認識しました。ロータリークラブを通して人や組織のあり方、理念や生き様などのさまざまな新しい出会いが凝縮された形で次々と展開しています。この機会を大切にしながら、ガバナー補佐として新たな経験をとことん楽しみたいと思います。吉原ガバナーをはじめ、グループ7のクラブの会長・幹事、そして皆様との出会いに心より感謝しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



グループ8 ガバナー補佐
呉RC 神垣 和典

本年度グループ8ガバナー補佐を務めさせていただきます呉RCの神垣和典です。ロータリーには「YES」しかないというこ、クラブ会長年度が始まったばかり、公式訪問を終えてはっとしかけた昨年8月に下命がくだりました。何もわからないというよりも、会長をこなしながら、同時に何かあるたびに、ガバナー補佐方々の行動やあいさつを勉強させていただきました。その分例年より貴

重な会長年度でもあったような気がしております。何といってもRLIディスカッションリーダーは、こちらが試されているかのようで、まさに苦痛そのものでしたが、3回を終えて少しは度胸、といってもクソ度胸ですが、ついてきたように感じております。

本年度吉原ガバナーは、信条を「輝こうロータリー ふたたび!」とし、目的を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」と非常にわかりやすい共感されるものとされています。7クラブが少しでも元気に奉仕活動と会員増強や親睦が図れますように、ガバナーとの橋渡し役に努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



グループ9 ガバナー補佐
因島RC 村上 光

ガバナー補佐を拝命いたしました村上光です。グループ9ではガバナー補佐の輪番制が定着しており、6年ごとに回ってきます。因島ロータリークラブの様に会員数20名の小クラブからガバナー補佐を出すのはなかなか大変な事であります。特に今年は創立50周年事業を準備するなか、長期戦略委員会より、一番時間的に余裕がありそうな、つまりクラブで使い道のなさそうな私に白羽の矢が立ったようです。ロータリークラブに入会わずか12年の

私がガバナー補佐を任命されるのは、少数クラブの良い所だと思っております。

規定審議会ではロータリークラブの根幹にかかわるような変化が起こっています。その変化が、これからのロータリークラブの改善策となるべく、ガバナーと各クラブとの橋渡しの役目に専念し、皆様の発展のお役にたてるよう1年間努めてまいります。

柔軟性が、ロータリークラブを益々分かり難くさせていますが、ロータリーの基本は「世界でよいことをしよう」です。最優先項目の「ポリオ撲滅」はあと一歩です。皆様のご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



グループ10 ガバナー補佐
鞆の浦RC 宇田 宏之

本年度2018-19年度グループ10ガバナー補佐を担当いたします鞆の浦ロータリークラブの宇田宏之です。私はロータリー活動に参加して20年の節目を迎えることが出来ました。その記念ともなります年にガバナー補佐に推薦していただき、ロータリーに少しでも恩返しできればとお引き受け致しました。

10月第1回ガバナー補佐会議をはじめ、3回のRLIを経験し恩返しどころか再び自分の未熟さ・勉強不足を知らされ

ました。また2710地区の会員の皆さんのテーマについての発表・考え方に感銘を覚えました。

本年度、吉原ガバナーの信条「輝こうロータリー ふたたび!」、基本目的「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」です。ガバナーの思いと熱意をグループ10各クラブに伝達しフィードバックを行いより良いクラブ運営ができますよう、ガバナー補佐幹事2名と事務局のメンバーの協力を得ながら架け橋となって行動したいと思っております。

また2019年3月9日(土)にはグループ10・11合同でIMを行います。たくさんの会員の皆さんの参加をお待ちしています。微力ながらこの1年、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



グループ11 ガバナー補佐
松永RC 稲垣 城史

一年前になります。「木乃伊取りが木乃伊になる」が如く、私がガバナー補佐になることになりました。覚悟を決める間もなく、地区で研修等が始まりました。久しぶりに「ロータリーを知る」機会をいただきました。そして私の「ロータリーを楽しむ」スイッチが押されました。

吉原ガバナーの基本目的「仲間を増やす」べく、グループ11の担当クラブのみなさまに、増強を愚直にお願いをさせ

ていただきます。明確な目標数を掲げていただき、競うものではありませんが、グループ内で他クラブの増強を励みとして共に目標達成を目指していきたいと考えています。「すべてはそこから始まる」からです。

一方、グループ内のクラブが楽しいクラブであり、会員のみなさまが楽しく有意義に活動されるようお手伝いをさせていただきます。各クラブがクラブ戦略計画の目標に向かうにあたり、できる限りの後押しさせていただくことで、クラブ及び会員のみなさまに変化をもたらされることを願っています。微力な私ではありますが、インスピレーションになろうとしています。



グループ12 ガバナー補佐
庄原RC 角田 守

本年度のグループ12ガバナー補佐を務めさせていただきます、庄原ロータリークラブの角田です。

グループ12は、5クラブ会員数150名という少数会員です。本年度、吉原ガバナー信条の「輝こう

ロータリー ふたたび!」これに私は共鳴し、吉原ガバナーの熱意に対して少しでもお役に立てるように、更にはグループ12の5クラブが輝きを取り戻す様な存在感。そして、緊張感の中に楽しさを共有でき、ロータリアンとしてもステータスが持てる例会創りに尽力してみたいと思っております。

同時に、地区ガバナーとクラブの橋渡しが出来れば、微力ではございますが頑張っ参りますので、ご指導ご支援を賜ります様宜しくお願いいたします。



国際ロータリー第2710地区 2018-19年度会員増減・出席率(2018年7月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
1	長門	89.58	22	25	4	3	0
	下関	80.00	44	45	1	1	0
	下関中央	81.48	34	34	6	0	0
	下関東	80.95	56	56	3	0	0
	下関北	85.40	43	43	0	0	0
	下関西	79.12	33	33	1	1	1
	計	82.76	232	236	15	5	1
2	萩	97.50	54	54	0	0	0
	萩東	100.00	24	24	1	0	0
	美祢	81.13	22	23	0	1	0
	小野田	92.30	35	35	3	0	0
	宇部	90.73	46	46	3	0	0
	宇部東	70.83	13	13	2	0	0
	宇部西	89.25	51	51	3	0	0
	計	88.82	245	246	12	1	0
3	防府	91.05	59	62	2	3	0
	防府北	93.87	19	22	1	3	0
	防府南	95.27	34	37	6	3	0
	山口	87.69	46	46	4	0	0
	山口県央	90.46	29	30	1	1	0
	山口南	89.24	41	40	4	0	1
	計	91.26	228	237	18	10	1
4	光	90.17	53	54	0	1	0
	周南西	90.63	54	54	4	0	0
	徳山	95.41	44	47	1	3	0
	徳山セントラル	88.75	24	25	0	1	0
	徳山東	92.77	50	50	0	0	0
	計	91.55	225	230	5	5	0

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
5	岩国	76.30	61	63	0	2	0
	岩国中央	89.03	40	41	3	2	1
	岩国西	80.65	61	62	4	1	0
	柳井	100.00	28	31	3	3	0
	柳井西	98.48	25	26	3	1	0
	計	88.89	215	223	13	9	1
6	広島	100.00	117	123	1	6	0
	広島安芸	96.29	41	41	3	0	0
	広島安佐	92.42	21	22	2	1	0
	広島東	100.00	110	111	8	2	1
	広島北	100.00	96	97	0	1	0
	広島陵北	98.52	52	52	2	0	0
	大竹	86.39	32	33	0	1	0
	計	96.23	469	479	16	11	1
7	広島中央	100.00	77	77	6	0	0
	広島廿日市	92.93	35	36	3	1	0
	広島城南	99.22	45	45	3	0	0
	広島南	100.00	83	85	0	3	1
	広島東南	100.00	99	96	12	2	5
	広島西南	100.00	66	66	4	0	0
	広島西	100.00	83	84	2	1	0
	計	98.88	488	489	30	7	6
8	江田島	91.18	18	18	0	0	0
	東広島	100.00	33	33	2	0	0
	東広島21	75.00	16	16	4	0	0
	呉	93.62	67	67	0	0	0
	呉東	90.08	36	36	1	1	1
	呉南	92.71	61	61	3	0	0
	西条	100.00	37	38	3	1	0
	計	91.80	268	269	13	2	1

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
9	広島空港	77.04	27	27	3	0	0
	因島	96.67	20	20	0	0	0
	三原	91.95	58	58	0	0	0
	尾道	81.64	82	82	2	0	0
	尾道東	91.16	52	53	4	1	0
	瀬戸田	80.00	5	5	1	0	0
	竹原	86.02	32	32	4	1	1
	計	86.35	276	277	14	2	1
10	府中	100.00	26	27	1	1	0
	福山	99.67	81	83	0	2	0
	福山東	89.29	48	49	2	1	0
	福山丸之内	99.04	30	30	1	0	0
	鞆の浦	86.67	24	24	0	0	0
	福山REC2710	100.00	19	19	3	0	0
	計	95.78	228	232	7	4	0
11	福山赤坂	85.63	52	54	7	2	0
	福山北	94.12	38	40	0	2	0
	福山南	86.14	57	57	2	0	0
	福山西	98.78	41	41	4	0	0
	松永	89.20	53	53	3	0	0
	計	90.77	241	245	16	4	0
12	吉舎	95.00	15	15	0	0	0
	三次	81.64	41	42	0	1	0
	三次中央	99.12	41	41	5	0	0
	庄原	90.32	33	33	4	0	0
	東城	86.76	17	17	1	0	0
	計	90.57	147	148	10	1	0
	第2710地区計	90.78	3262	3311	169	61	12

※正式名称「福山ロータリー Eクラブ 2710」

特別コラム

断水で感謝も新た 山口玄洞翁「無功德の寄付」

ガバナー月信編集委員 二宮 仁

今年7月初旬、数十年に一度の豪雨により、山口、広島、岡山県をはじめ西日本各地は大きな災害を受けました。被災された方々にお見舞いを申し上げ、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたします。

さて、今回の災害の特徴の一つに断水があります。多くの被災地で断水となり、三原市と尾道市ではほぼ全域が断水し、市民は長期間に及んで辛苦の水なし生活を味わいました。

豪雨の後は打って変わって猛暑続き。外で仕事をしようものなら、すぐに服は汗ビショリで、日に何度も着替えが必要となりました。そんな中で自宅の洗濯機は使えず、井戸のあるお宅の洗濯機を借りに行ったり、長蛇となった福山市のコインランドリーへ並んだりの生活ぶりでした。

苦勞に苦勞が重なる中で、多くの市民は水の大切さを痛感し、加えて高齢者の水を運んだり、井戸水を近所で分け合ったり、洗濯機を貸してもらったりと、地域で助け合う人情に触れ、隣人への感謝も再確認したものです。

尾道市の中心市街地は住宅が三山に囲まれた場所に密集し、昔から水に苦勞してきたところです。そんな尾道市は大正10年9月に総工費148万円余りで上水道敷設を決めました。いまのお金で言えば、250億円にもなりそうな一大事業です。国と県の補助は30万円余りしか見込めず、残りの103万5千円を市債に頼る計画でした。

このとき、市債を覚悟した103万5千円的全額、いまで言えば200億円余りを一人で寄付されたのが山口玄洞翁です。裸一貫の丁稚奉公から身を立て、大阪でも指折りの洋反物商として成功した人物で、生まれ故郷の尾道市の苦境を我が身の痛みと受け取られました。玄洞翁は「無功德の精神です。尾道市の皆さんが先祖に感謝し、幸せを祈念して念仏を三回唱えていただければ満足」と言って笑い、尾道市が申し出た男爵の奏請や銅像の建立も断られました。

無功德の寄付。ロータリー精神にも通じる玄洞翁の頌徳碑は後に尾道駅前の蘇和稲荷神社境内に建立され、いまでも奉仕活動の支柱となっています。



2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

新会員紹介

 沖田 安男 長門RC 2018年7月10日 水道工事業	 末永 光佳 長門RC 2018年7月10日 養鶏業	 横田 昭男 長門RC 2018年7月10日 福祉事業	 鷺川 陽一 下関RC 2018年7月9日 通運業	 竜田 博之 下関RC 2018年8月6日 中央銀行	 川村 仁誠 下関中央RC 2018年6月1日 獣医師	 宇戸 大輔 下関西RC 2018年7月1日 生命保険	 渡邊 康弘 防府RC 2018年8月7日 地方銀行	 末廣 恒 山口県東RC 2018年7月3日 食品販売	 清田 英津子 山口南RC 2018年7月10日 プライダル企画	 兼森 憲太郎 光RC 2018年7月2日 スポーツ事業	 白石 英二 徳山RC 2018年7月12日 火災保険
 山本 泰 徳山RC 2018年7月12日 住宅産業	 岩田 幸雄 徳山RC 2018年7月19日 民間放送	 金子 正憲 徳山セントラルRC 2018年7月23日 短期金融	 加藤 英治 岩国RC 2018年7月5日 石油工業(石油精製)	 宇野 孝典 岩国RC 2018年7月17日 金融(商業銀行)	 森川 徳男 岩国RC 2018年8月2日 電気工事	 杉本 博明 岩国中央RC 2018年7月11日 ホテル	 宮川 泰一 岩国西RC 2018年7月11日 金融業	 石橋 貴雄 柳井RC 2018年7月11日 生活調理学	 末岡 康成 柳井RC 2018年7月17日 電気事業	 山縣 学 柳井RC 2018年7月17日 電気工事	 金澤 和也 柳井西RC 2018年7月5日 生命保険
 服部 謙一 広島RC 2018年7月2日 ビルディング管理	 岡本 興平 広島RC 2018年7月3日 不動産業	 深草 清 広島RC 2018年7月10日 煙草配布	 花野 博昭 広島RC 2018年7月17日 電子通信機器製造	 山本 慶一郎 広島RC 2018年7月17日 報道機関	 前野 仁志 広島RC 2018年7月31日 電気機械製造	 長神 憲一 広島安佐RC 2018年7月5日 LPガス販売	 佐々木 越人 広島東RC 2018年7月11日 建築材料配付	 谷村 武志 広島東RC 2018年7月18日 ガス供給	 吉良 賢治 広島北RC 2018年7月12日 不動産売買	 鳥海 素直 大竹RC 2018年7月10日 普通銀行	 西川 公一郎 広島中央RC 2018年8月6日 病院
 亀岡 優花 広島廿日市RC 2018年7月2日 生命保険	 八木 裕 広島東南RC 2018年7月23日 情報通信サービス事業	 河野 洋平 広島東南RC 2018年7月30日 司法書士	 高松 裕己 広島西RC 2018年7月5日 ビル総合管理	 渡邊 朋唯 呉東RC 2018年7月4日 楽器販売	 永茂 政彦 呉東RC 2018年8月1日 商業銀行	 森 哲也 西条RC 2018年7月26日 指揮者	 深町 心一 尾道RC 2018年6月15日 商業銀行	 林 和生 尾道RC 2018年8月1日 電気設備	 松本 栄治 尾道東RC 2018年7月29日 損害保険	 野田 眞治 竹原RC 2018年7月5日 非鉄金属	 藤田 陽子 府中RC 2018年7月1日 美容室
 向川 傑 福山RC 2018年7月9日 鉄道運輸	 菅田 卓志 福山RC 2018年7月23日 ホテル	 小田 芳正 福山RC 2018年7月4日 印刷	 新宅 富士夫 福山RC 2018年7月19日 報道	謹んで追悼の意を表します 岩国中央RC 故 石川 誠 殿 2018年7月10日 ご逝去 (享年69歳)				 竹原RC 故 藤中 保 殿 2018年7月14日 ご逝去 (享年87歳)			

文庫 通信

371号

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫

検索

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

「これからのロータリー」	斎藤 直美	2016	7p	D.2520 地区大会記念誌
「変わりゆく時代とロータリー」	本田 博己	2018	8p	D.2740 地区大会記念誌
「ロータリークラブの運営について」	深川 純一	2016	9p	D.2760 地区大会記念誌
「よく分かる職業奉仕」	藤林 豊明	2016	10p	D.2520 地区大会記念誌
「菩薩の心とロータリー」	北河原 公敏	[2018]	2p	D.2640 地区大会報告書
「ロータリーとの出会いを通しての成長」	ジャンプガルバドゥッハ	2018	2p	D.2790 地区大会記録誌
「人類の進歩に役立つ科学の例～有機ホウ素化合物を利用する有機合成」	鈴木 章	2018	5p	D.2690 地区大会記念誌
「男と女の脳科学～脳が作り出す男女のミゾ、人生の波」	黒川 伊保子	2018	10p	D.2710 地区大会特集号
「これからの日本と誇りある国づくり」	櫻井 よしこ	2018	2p	D.2740 地区大会記念誌

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>